

琉球大学学術リポジトリ

宮古諸島水納島におけるサキシマオカヤドカリの記録

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学資料館 (風樹館) 公開日: 2018-03-09 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 藤田, 喜久, 成瀬, 貫, Fujita, Yoshihisa, Naruse, Tohru メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/38719



宮古諸島水納島におけるサキシマオカヤドカリの記録

藤田喜久^{1,3}・成瀬貴²

¹〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵 1-4 沖縄県立芸術大学

²〒907-1541 沖縄県竹富町上原 870 琉球大学熱帯生物圏研究センター西表研究施設

³通信著者 (E-mail: fujitayo@okigei.ac.jp)

記録

宮古諸島水納島からサキシマオカヤドカリ *Coenobita perlatus* H. Milne-Edwards, 1837 を記録した (図 1)。サキシマオカヤドカリは、2014 年 6 月 27~29 日にかけての同島への滞在時に、同島東部の砂浜および岩礁域において複数個体 (約 10 個体) が観察された。今回採集された 3 個体はすべて雌であったが、仲宗根 (1987) や朝倉 (2004) が示すように、1) 体全体が鮮やかな赤色を示すこと、2) 左鉗脚の掌部上縁に毛束、そして外面上部に斜向顆粒列を備えること、3) 左第 3 胸脚 (第 2 歩脚) 前節の外面と内面が明瞭な縦走隆起稜によって区別されないこと、などの特徴に基づき、明らかにサキシマオカヤドカリと同定できる。採集された標本は、すべて琉球大学資料館風樹館 (RUMF: Ryukyu University Museum, Fujukan) に収蔵した [RUMF-ZC-2812, 1 抱卵雌, 前甲長 20.1 mm, 2014 年 6 月 28 日採集; RUMF-ZC-2813, 1 雌, 前甲長 17.7 mm, 2014 年 6 月 28 日採集; RUMF-ZC-2814, 1 抱卵雌, 前甲長 21.5 mm, 2014 年 6 月 28 日採集]。なお、オカヤドカリ類は国指定天然記念物であるため、文化財保護法第 125 条第 1 項の規定による現状変更許可 (24 受庁財第 4 号の 1006 および 26 受庁財第 4 号の 655) を得て採集を行った。

サキシマオカヤドカリのこれまでの国内における分布の記録は、小笠原諸島の父島、火山列島の北硫黄島、南硫黄島、南鳥島、琉球列島の黒島および石垣島に限定されており (藤田, 2005; 佐々木・堀越, 2008; 成瀬, 2014; 武田, 2014), 本報告におけるサキシマオカヤドカリの発見は、標本に基づく水納島からの初記録となる。なお、平良市 (2001) は、本種の分布に宮古諸島を挙げ、平良市自然環境保全条例 (現宮古島市自然環境保全条例) の指定種として写真を添えて記述しているが、産地や記録年などの情報は不明である。

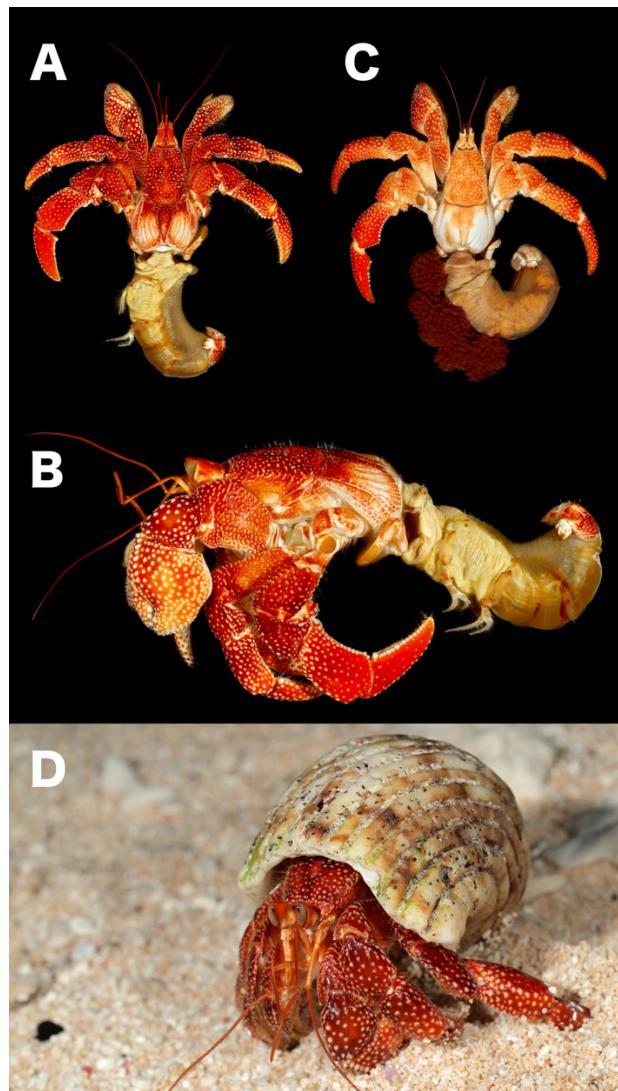


図 1. 宮古諸島水納島から採集されたサキシマオカヤドカリ。A, 雌 (RUMF-ZC-2813: 前甲長 17.7 mm), 全体背面; B, 同, 全体側面; C, 抱卵雌 (RUMF-ZC-2812: 前甲長 20.1 mm), 全体背面; D, 生態写真 (RUMF-ZC-2813)。

Fig. 1. *Coenobita perlatus* H. Milne-Edwards, 1837, collected from Minna-jima Island, Miyako Island Group, the southern Ryukyu Islands, Japan. A, female (RUMF-ZC-2813: shield length 17.7 mm), dorsal view of fresh specimen; B, same, lateral view of fresh specimen; C, ovigerous female (RUMF-ZC-2812: shield length 20.1 mm), dorsal view of fresh specimen; D, in situ photograph (RUMF-ZC-2813).

本種は現在、環境省版レッドデータブックにおいて絶滅危惧 II 類 (VU), 沖縄県版レッドデータブックでは絶滅危惧 IB 類 (EN), 東京都版レッドデータブックでは情報不足 (DD) と評価されている稀少種である (藤田, 2005; 成瀬, 2014; 武田, 2014). 今回、水納島から採集されたサキシマオカヤドカリには2個体の抱卵雌が含まれていたことから、水納島においてサキシマオカヤドカリが繁殖していることが明らかとなった. 従来、琉球列島内においてサキシマオカヤドカリの繁殖が記録されている場所は知られておらず、水納島は本種の重要な繁殖地であると言える.

謝辞

水納島における生物調査では、琉球大学の中本敦博士、吉田隆太博士、小林大純氏、沖縄県教育庁文化財課の城間恒宏氏に大変お世話になった. また、島根大学汽水域研究センターの大澤正幸博士には、本原稿の改訂にあたって貴重な意見をいただいた. 以上の方々に感謝する.

引用文献

- 朝倉彰, 2004. ヤドカリ類の分類学最近の話題
—オカヤドカリ科. 海洋と生物, 26(1): 83–89.
- 藤田喜久, 2005. サキシマオカヤドカリ. 沖縄県文化環境部自然保護課 (編), 改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物 (動物編) レッドデータおきなわ. Pp. 196–197, 沖縄県文化環境部自然保護課, 那覇.
- 平良市, 2001. サキシマオカヤドカリ. 沖縄環境分析センター (編), 平良市の保全種及び保全樹: 平良市自然環境保全条例指定保全樹, 保全動・植物図鑑. Pp. 29, 沖縄県平良市, 宮古島.
- 仲宗根幸男・当山昌直・黒住耐二, 1987. 沖縄県天然記念物調査シリーズ 第29集あまんオカヤドカリ生息実態調査報告. 沖縄県教育委員会, 那覇.
- 成瀬貫, 2014. サキシマオカヤドカリ. 環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室 (編), レッドデータブック2014 –日本の絶滅のおそれのある野生生物– 7 その他の無脊椎動物 (クモ形類・甲殻類等). Pp. 43, ぎょうせい, 東京.
- 佐々木哲郎・堀越和夫, 2008. 南硫黄島の海洋生物. 小笠原研究, 33: 155–171.

武田正倫, 2014. サキシマオカヤドカリ. 東京都環境局自然環境部 (編), レッドデータブック東京2014 ~東京都の保護上重要な野生生物種 (島しょ部) 解説版~. Pp. 537, 東京都環境局自然環境部, 東京.

New record of *Coenobita perlatus* H. Milne Edwards, 1837 (Decapoda: Anomura: Coenobitidae) from Minna-jima Island, Miyako Island Group, the southern Ryukyu Islands, Japan

Yoshihisa Fujita^{1,3} & Tohru Naruse²

¹Okinawa Prefectural University of Arts, 1-4 Shuri-Tounokura, Naha, Okinawa 903-8602, Japan

²Tropical Biosphere Research Center, Iriomote Station, University of the Ryukyus, 870 Uehara, Taketomi, Okinawa 907-1541, Japan

³Corresponding author
(E-mail: fujitayo@okigei.ac.jp)

Abstract. A land hermit crab, *Coenobita perlatus* H. Milne-Edwards, 1837 (Decapoda: Anomura: Coenobitidae), is recorded on the basis of three female specimens (including two ovigerous females) collected from Minna-jima Island, Miyako Island Group, the southern Ryukyu Islands, Japan.

投稿日: 2015年12月12日

受理日: 2015年12月23日

発行日: 2016年2月3日